

加藤安範君の J R 東海ユニオン加入を糾弾する！

加藤安範君から、昨年12月6日脱退届が郵送されてきた。脱退の理由は、「一身上の都合」となっていた。

加藤君は悩んでいた時、心配した先輩や同期が自宅を訪れて話すことが出来、そして加藤君は「駅に残りたい。東海労にいたのではこのまま新横浜駅には残れない。運輸所には戻りたくない」と言っていた。何故、運輸所に戻りたくないのかと聞くと「プレッシャーのかかる異常な職場だから」と答えていた。また、「J R 東海労を脱退してもユニオンには加入しない」と多くの仲間の前で約束までしていた。

しかし、1月6日付けでユニオンに加入した。

東海労組合員から報告があった。加藤君は脱退後、何人かの東海労組合員にメールをしていたが、内容は、脱退の理由や自分の気持ちではなく、脱退を誘ったものであり、まさかとは思いますがユニオン加入にあたっての手土産をと画策していたようだ。だが、君に同調するものは誰もいない！

J R 東海労は、東二運分会斉藤書記長にかけられた報復処分を撤回せせるために裁判で闘っている。不当な処分を撤回させるべく闘っているさなかでのユニオン加入は、斉藤書記長だけでなく、全ての東海労組合員が職場を働きやすくしようと考え行動している事に対する裏切り行為に他ならない。そして、家族を含めて最も優しく接してくれている人たちの恩を仇で返す行為でしかない。

J R 東海労東二運分会の闘う決意を明らかにする！

J R 東海労は、とりわけ東二運分会は、加藤君のユニオン加入を許さず糾弾し、組織が一丸となって、加藤君が戻りたくないと言った職場を働きやすくするための闘いを継続していく！

そして何よりも、斉藤書記長にかけられた「酒気帯び」のデッチ上げと、組織拡大や職場からの闘いに対する報復としての懲戒処分取り消し裁判に勝利するために全力で闘いを継続する！

さらなる松山さんに続く、J R 東海労への加入を実現するために全力で闘う！

2012年1月11日

J R 東海労 東二運分会